

だれ？

つくもかお

ますたに ゆたか

歳をかさねるにつれて ひとりで居る事が楽になっていた

- ・ 子供の頃からひとりで遊ぶ事は苦手ではなかったけど不思議なもので・・・
- ・ たくさんの人と楽しい時間を過ごす事ももちろん大好き
- ・ でも、たくさんの人の中 孤独を感じる事もある訳で
 - ・ ひとりで居ると 孤独感は無いのです

ひとは孤独ではない？

最近まで 誰にでも見えているのだと思っていた



あ、笑ってる

べつに、声が聞こえるという
訳では無いんです

なにか 気配があって 何か 考えている事を感じるんです



大丈夫？
「だいじょうぶだよ」

すこしたのしい気分にしてくれるのです

「かお」のときだけでは無かったりします



あ、踊ってる

コロナ時代に突入すると更に

ときにはイヌだったり



5匹もいる

いろいろなところで

なにか、見守られているのか？



恥ずかしがり屋さんなのか？

どんなときでも

他のヒトたちが皆よそよそしい時でも



なにか御用？

ときには食べものに

あのこれから食べるんですが



豚しゃぶサラダの精

忙しいときにかぎって

でもそれで心が落ち着いたり



ちゃんとロックしますよお

ホントに、いろんなところに

ちょっと急いでいるんだけど



まあ間に合ったからよしと、

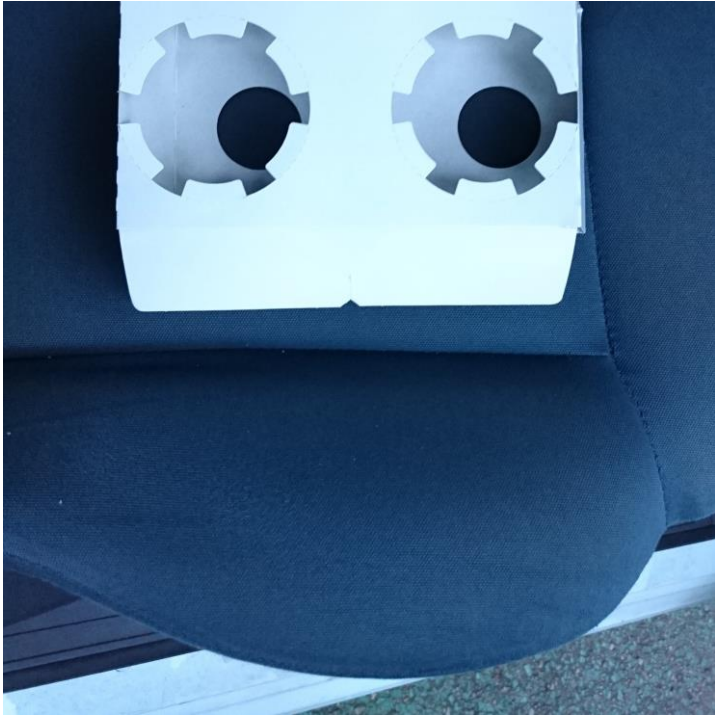
そう、いつも近くに居る

つくも神ってほどでもない つくもかお



毎日 毎日 たくさんの かお達が わたしの相手をしてれています

ますたに ゆたか (増谷寛)



1967年12月21日

母方の実家である 鳥取県境港市で生まれました

幼少期は チビの方で いつも 列の前の方に並んでいました

身体も細く 図鑑や百科事典が大好きでしたが

中学生になると体力もにつき 山登りやスキーなどを始めました

思えば チームスポーツや競技は あまり好んでした記憶がありません

写真家だった祖父 植田正治の影響で

高校時代に少し写真に凝った事もありましたが

高校を卒業する頃 父が他界し、大学に入ると 友人と集まって遊んでばかり

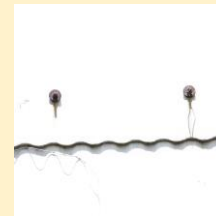
そのまま 何の疑問も持たず勤め人になりました

…もっと祖父に学ばよかった…

会社勤めをして10年経った頃

祖父が亡くなり

何かいろんな事が自分の中で変わり始めました



大手メーカーで商品開発や 工場建設の仕事をしていましたが

もう少し好きになれる仕事がしたくて

スキューバダイビング用品のメーカーに転職し 器材の設計をしています

コノ業界では 結構なヒット商品なんかも手掛けています

そんな中

祖父の仕事を残すべく働いた 叔父・姉 が次々と他界し いつの間にか自分がその仕事もするようになりました
そこで多くの方々に助けられて今につながっています
感謝感謝です

母も3年前に他界し 今、家族は妻と娘だけです

まあ 結構 楽しくやっています

